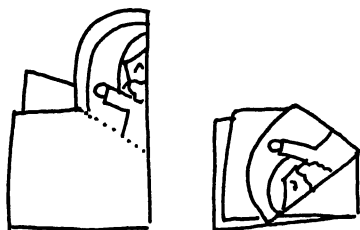
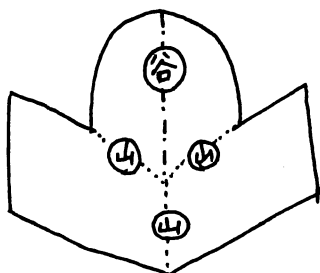


① Aに色をぬり、切り取る。 A

② 半分に折り曲げ、
折りぐせをつける。

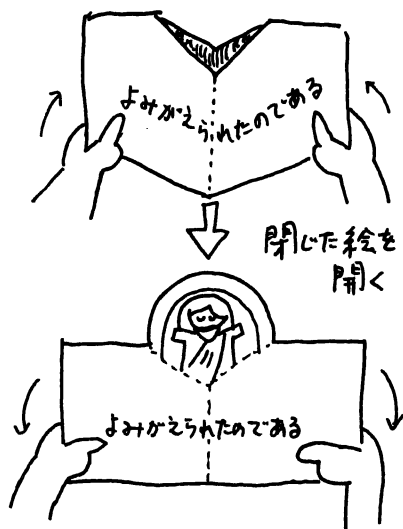


③ 山折り線と谷折り線を
それぞれ折り曲げる。



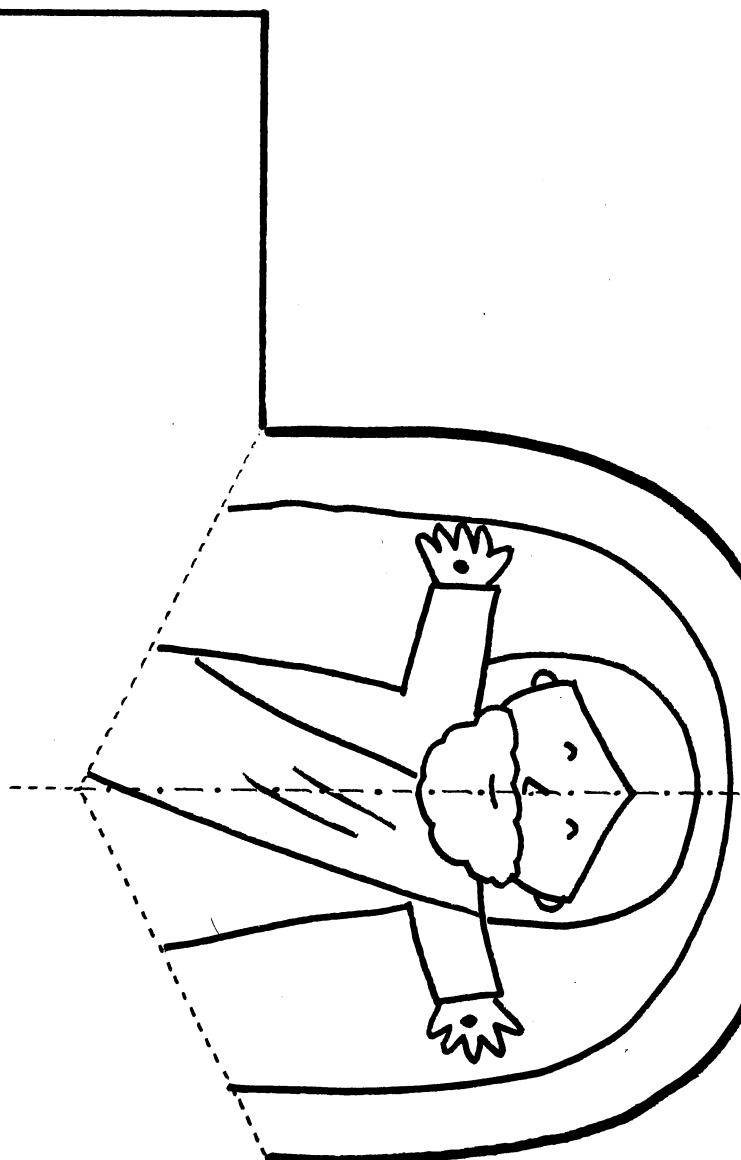
④ 閉じた絵を開くと、
イエスキリストが飛び出す。

— 完成図 —



もうここにはおられない。かねていわれたとおり、

よみがえられたのである。

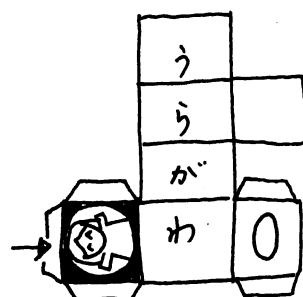


—— 切り取り線
----- 山折り線
- · - · - 谷折り線



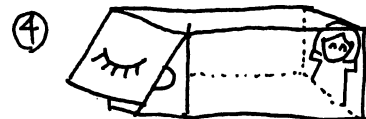
- ① Aを切り取る。
目の部分を切り抜く。
- ② Bに色をぬり、切り取り。

Aを裏がえしにして



黒で示す部分に、イエ様の
頭を左側に^ほて貼り付ける

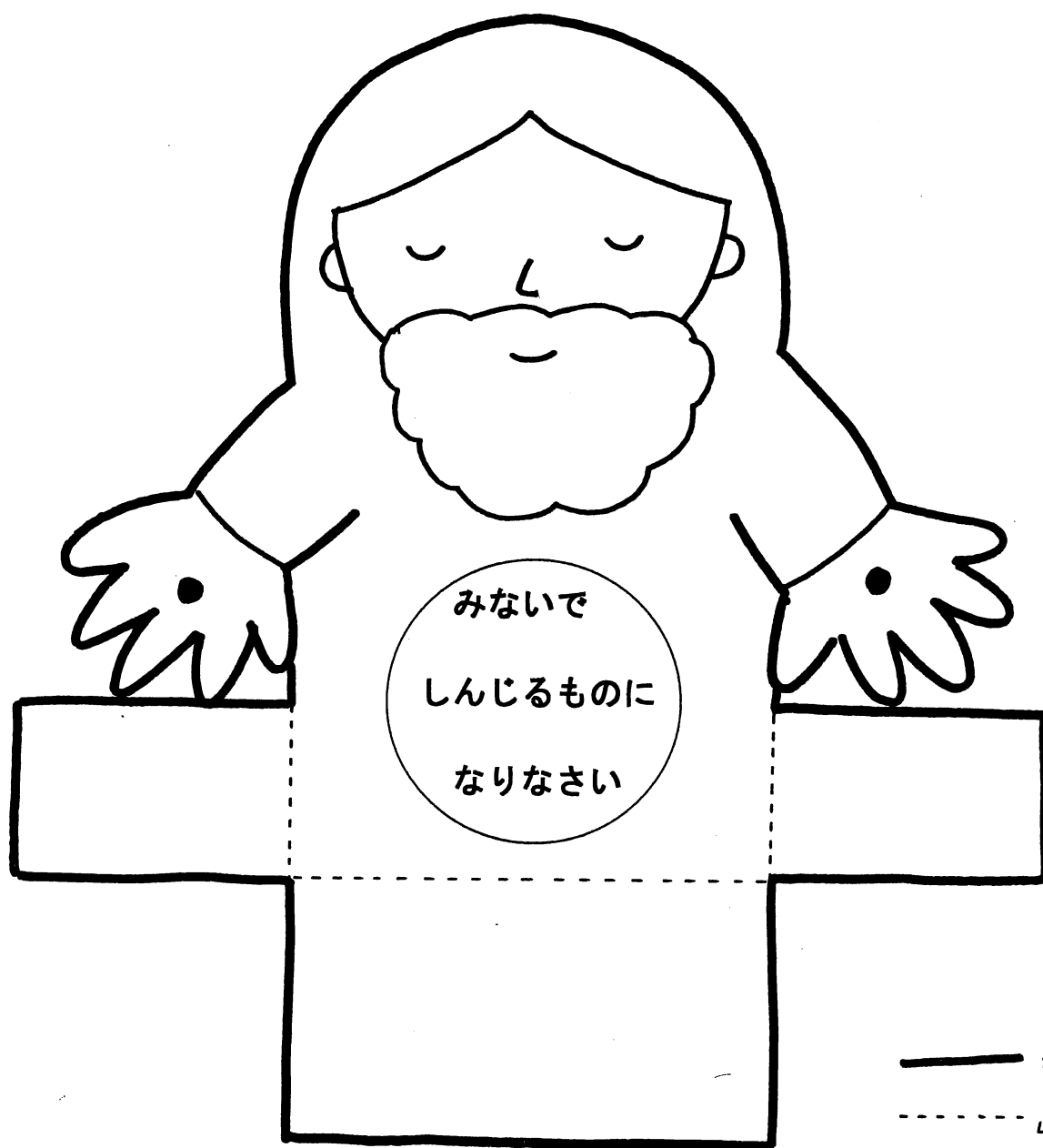
- ③ Aの山折り部を折り曲げ
箱をつくる。



箱のふたをあけ開めて
イエス様の姿を見る。

— 切り取り線

----- 山折り線

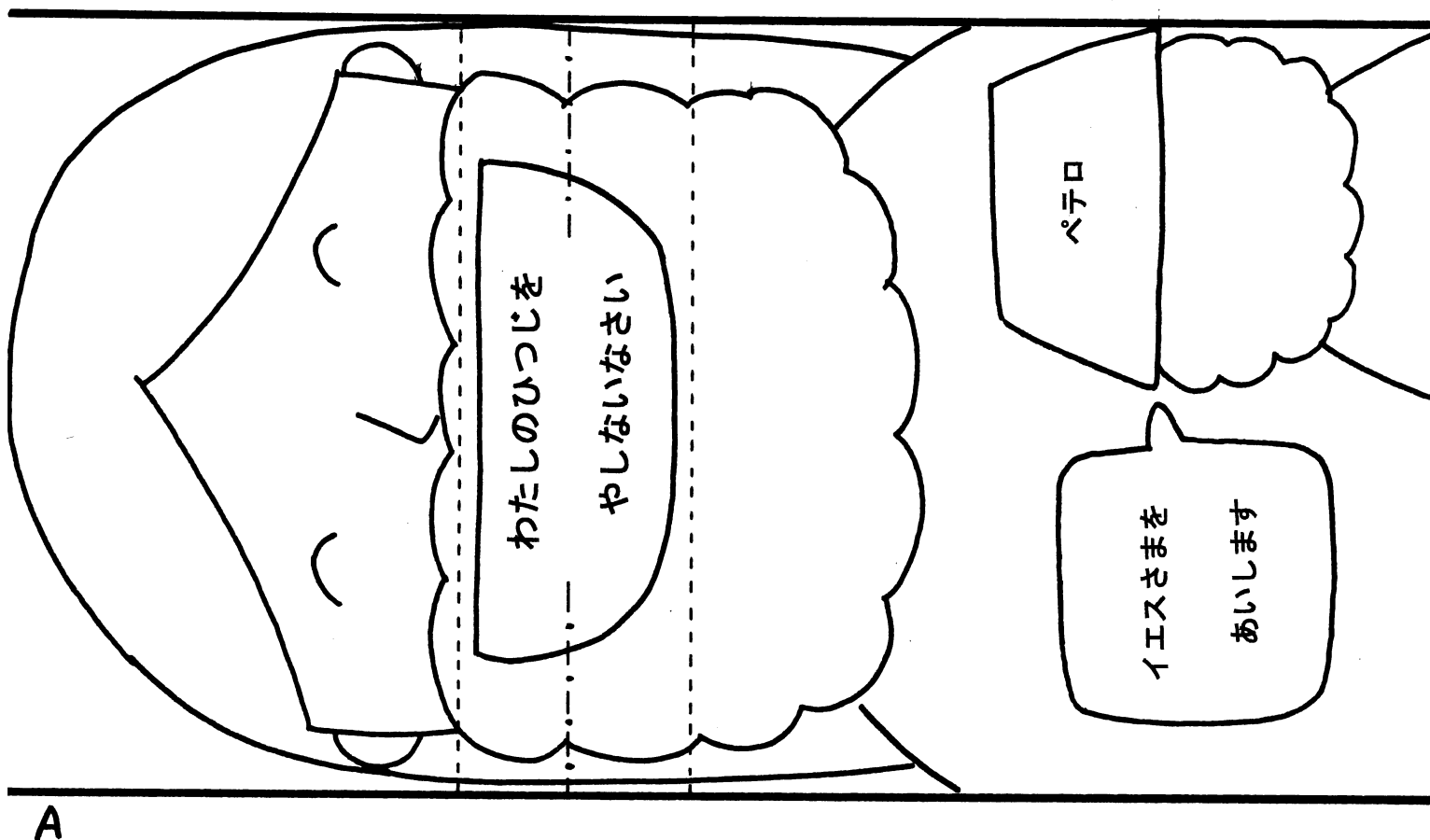


—— 切り取り線
----- 山折り線

— 完成図 —

- ① イエス様に色をぬって切り取る。
- ② イエス様の手の^{くき}金釘の跡に穴をあける。
- ③ 山折り部分を折り曲げて
イエス様を立たせる。

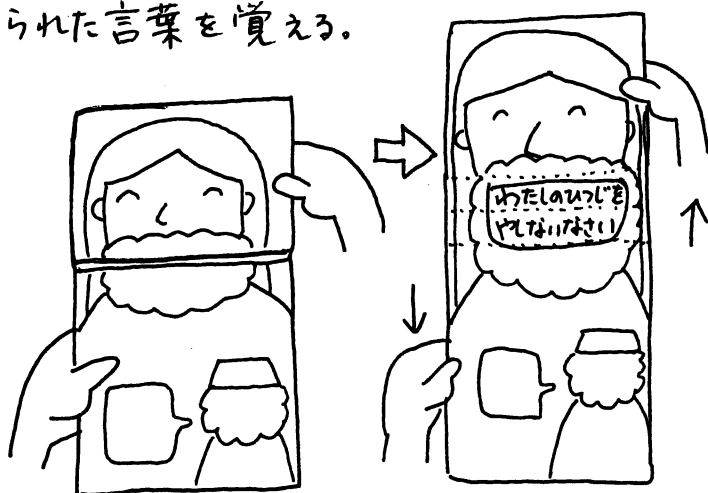




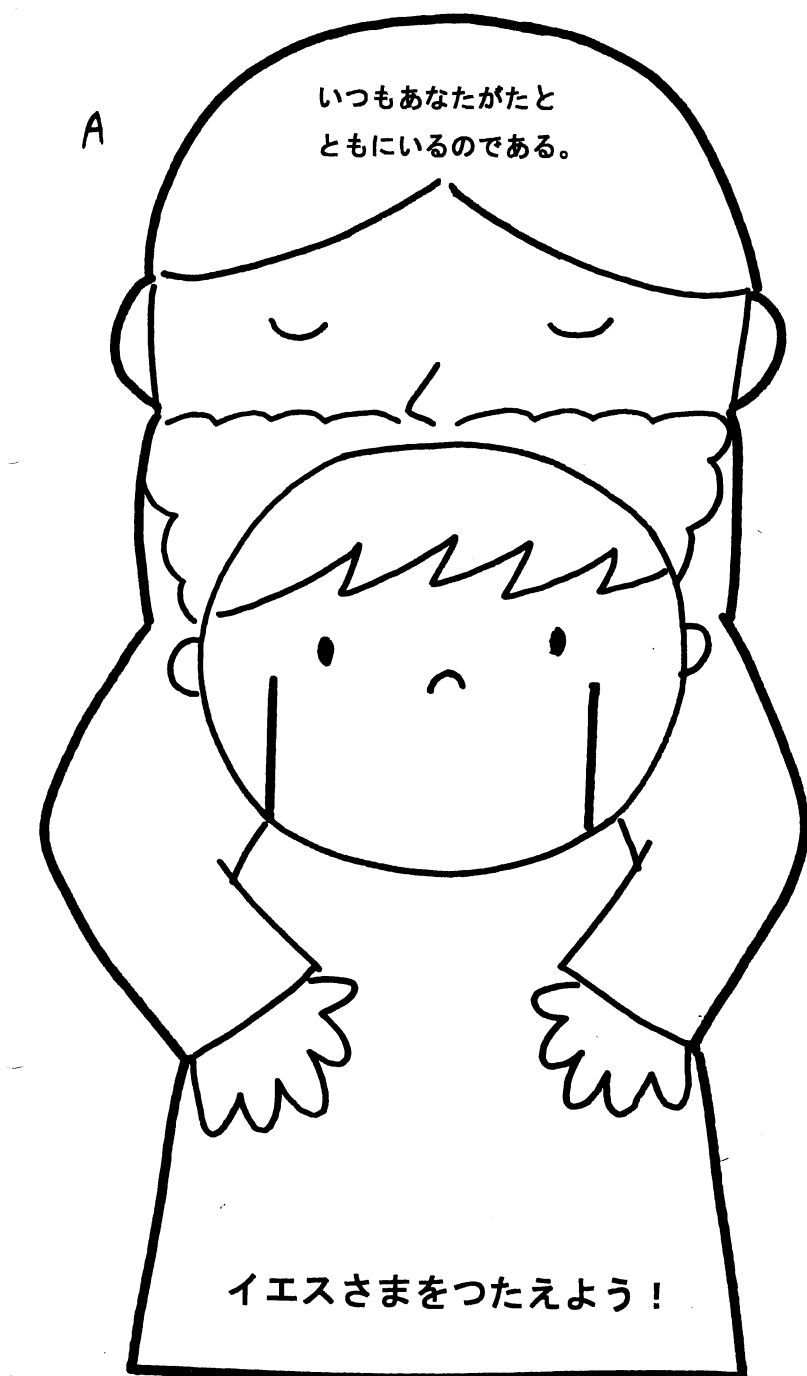
- ① Aに色をぬって切り取る。
- ② イエス様の口の部分の 山折り線、谷折り線を折り曲げる。
- ③ 上下の端を手で持ち上下に引き張りながら、
イエス様がペテロに語られた言葉を覚える。

—完成図—

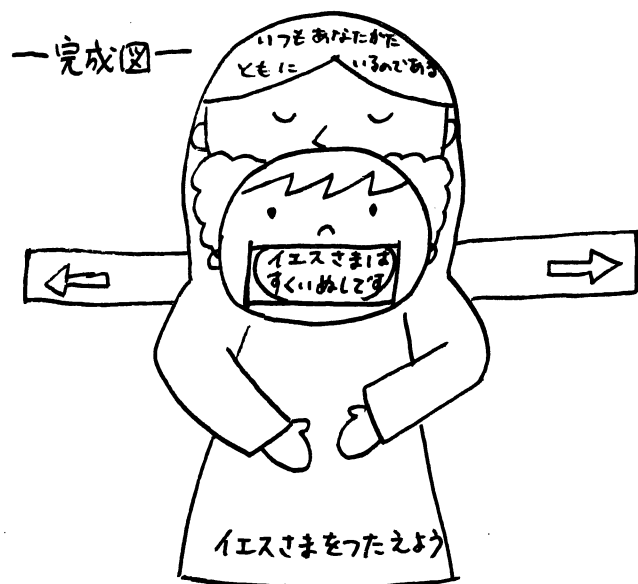
- 切り取り線
- 山折り線
- · - · - 谷折り線



いつもあなたがたと
ともにいるのである。マタイ28・20



- ① A・Bに色をぬって切り取る。
- ② 子どもの口部分に切り込みを入れる。
- ③ BをAの切り込みに図のように差し入れる。
- ④ Bを左右に引き張って重くしながら、イエス様に守られながらイエス様を伝えることを覚える。



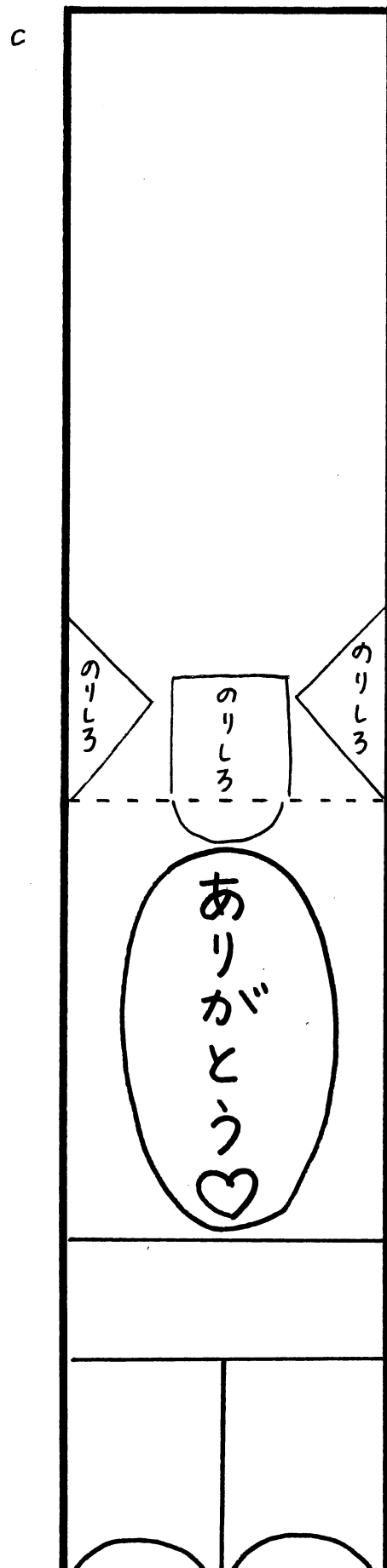
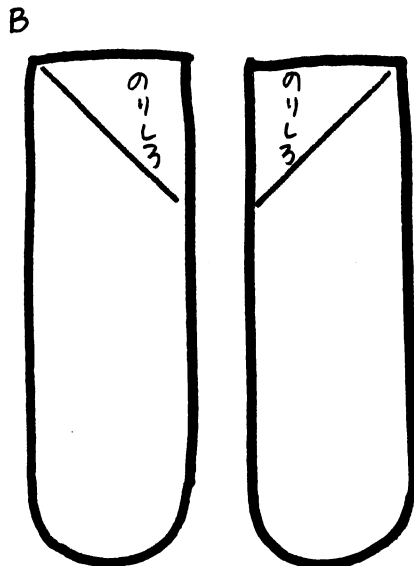
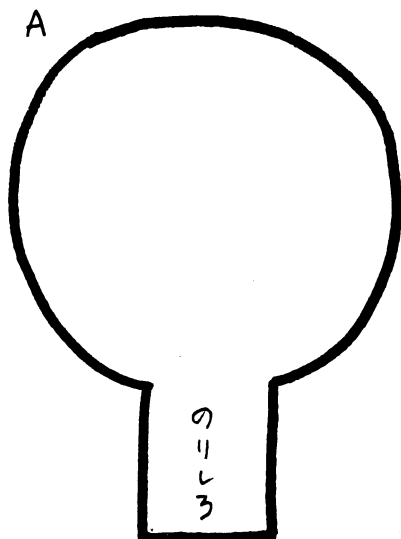
B

きょうかいに
いこう！

イエスさまは
すくいぬしです！

イエスさまを
しんじよう！

—— 切り取り線

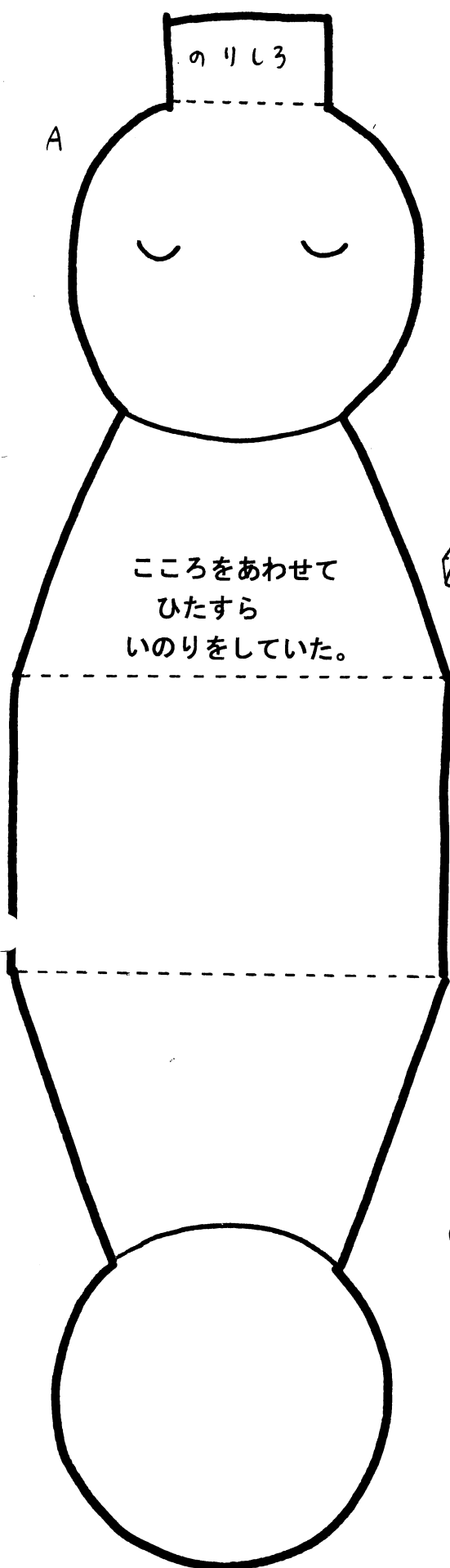


- ① A に自分の顔を描き、色をぬって切り取る。
- ② B、C にも色をぬって切り取る。
- ③ C を中心で山折りし、A、B を C に^は貼り付ける。
- ④ C のからだの下部分を親指と人差し指ではさみ、重なった紙を上下にスライドさせ、おじぎをさせる。

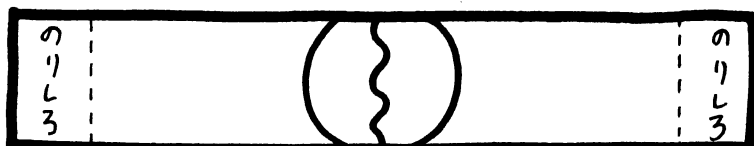
—完成図—



—— 切り取り線
----- 山折り線



B



① Aに自分の顔を描き、色をぬって切り取る。

② Aの山折り線を折り曲げて組み立てる。



③ Bに色をぬって切り取り、山折り線を折り曲げて、Aの前面に見張り付ける。

④ 大きな画用紙の中心にCを切り取って見張り付け、Cのまわりにそれぞれが作ったAを見張り付ける。

* 他の学年のお友だちや先生も一緒に作りましょう。

* わたしたちも心を合わせて祈りましょう。

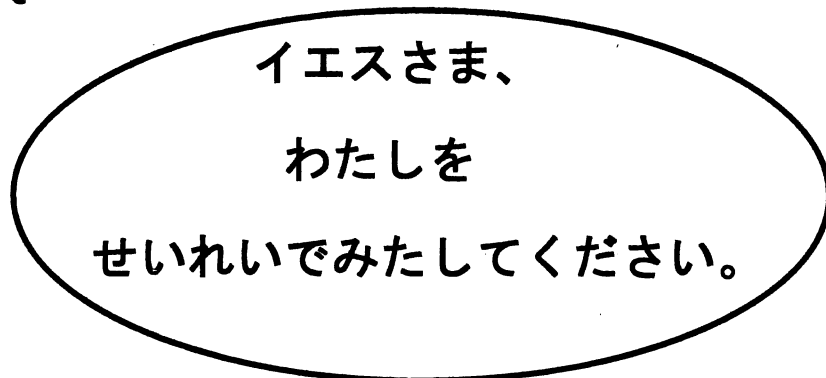
— 完成図 —



—— 切り取り線

----- 山折り線

C



A 2010 5 月 23 日 (カリ 8)

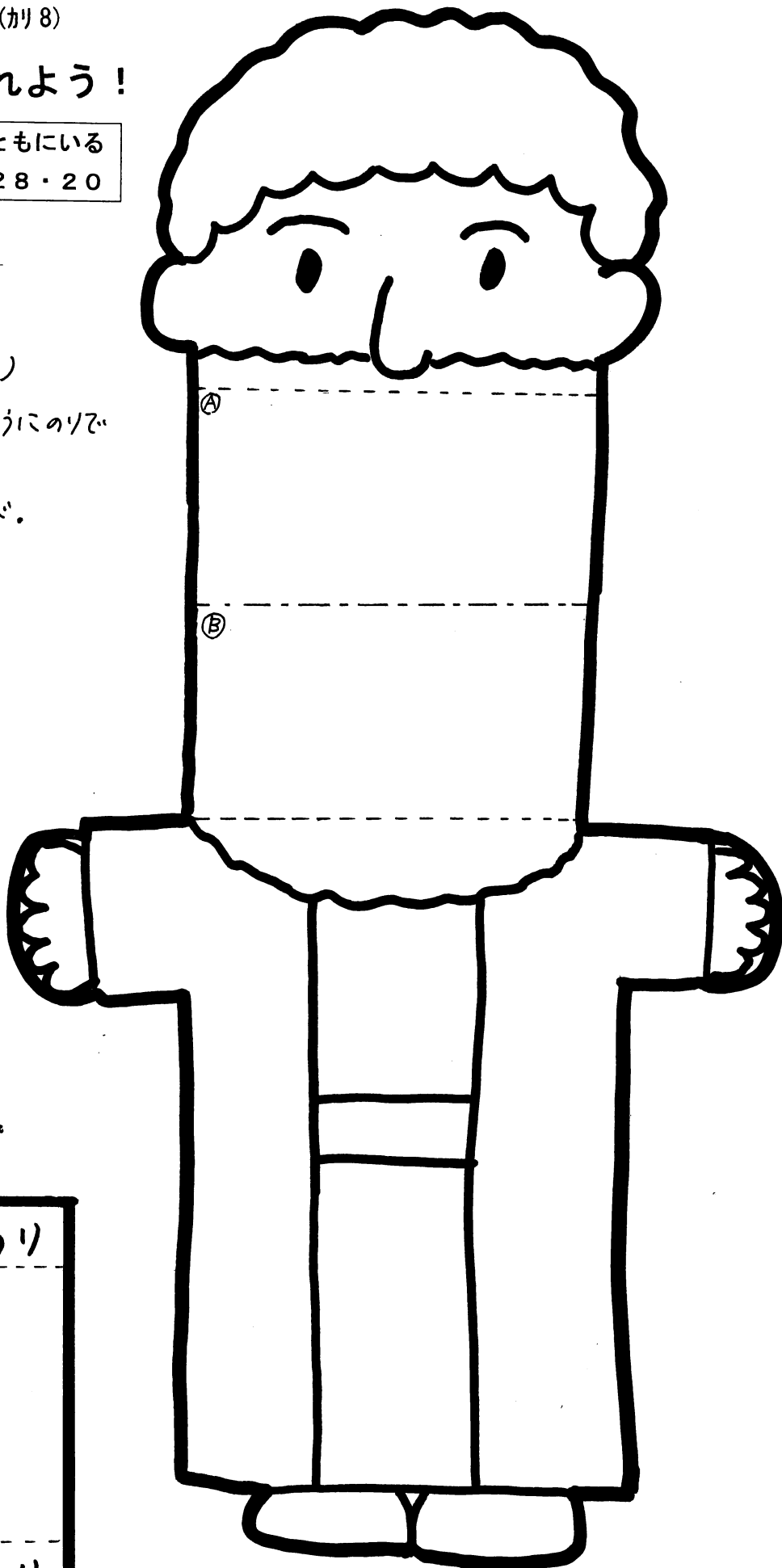
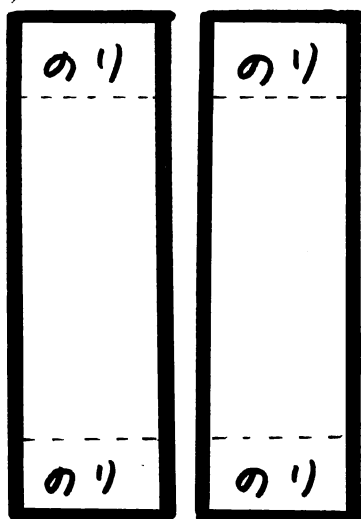
せいいにみたされよう！

いつもあなたがたとともにいる
のである。 マタイ 28・20

- ① 太線で切り取る。
(色をぬる場合は切る前に)
- ② ④⑤の裏に 取っ手を下図のようにのりで
はりつける。
- ③ 口をほくほくさせて遊ぶ。

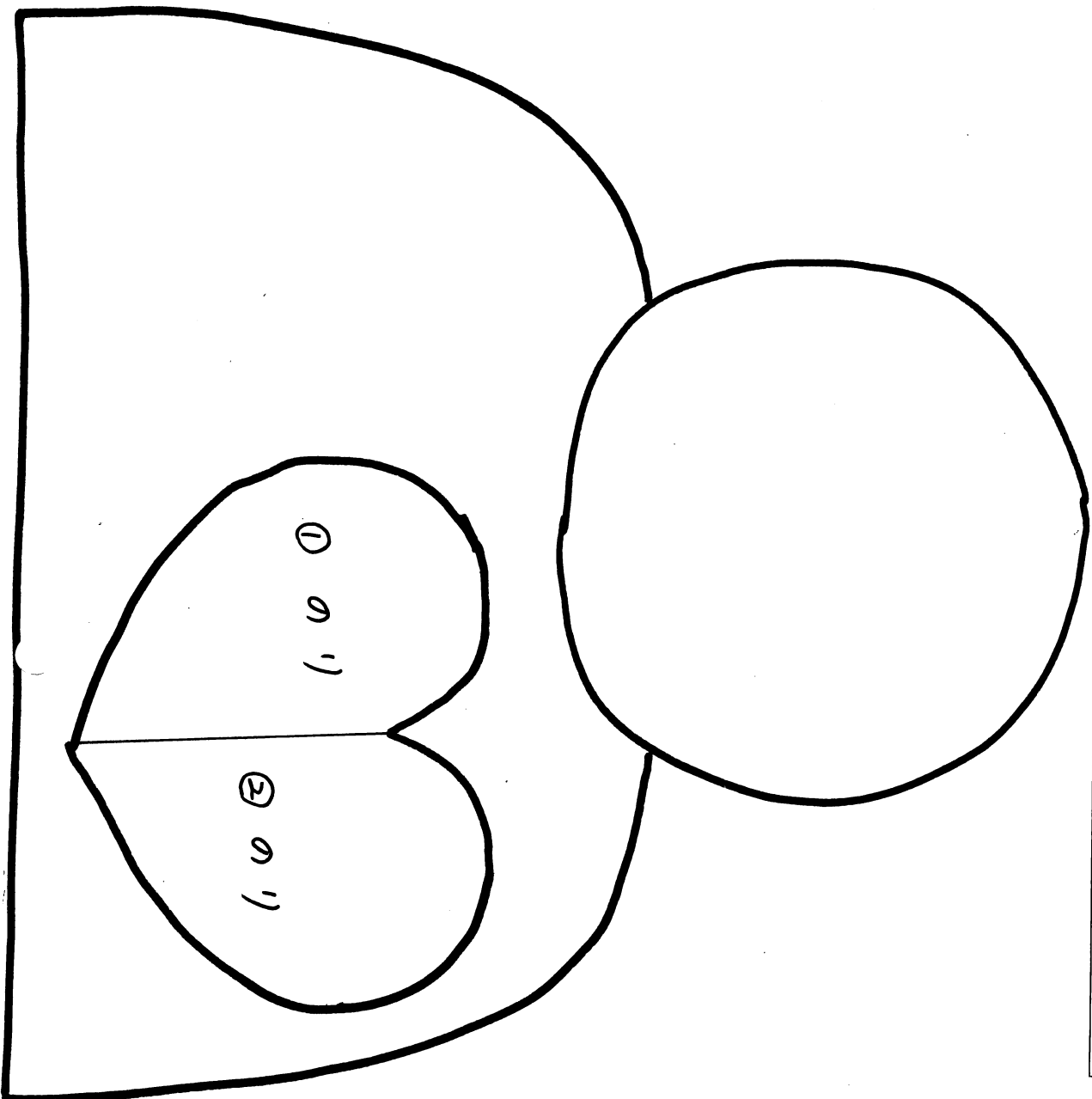


取っ手

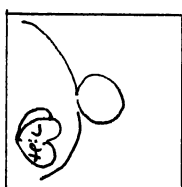


A 2010 5 月 30 日 (カ) 9) イエスさまのせんきよう

いつもあなたがたとともにいるのである。 マタイ 28・20



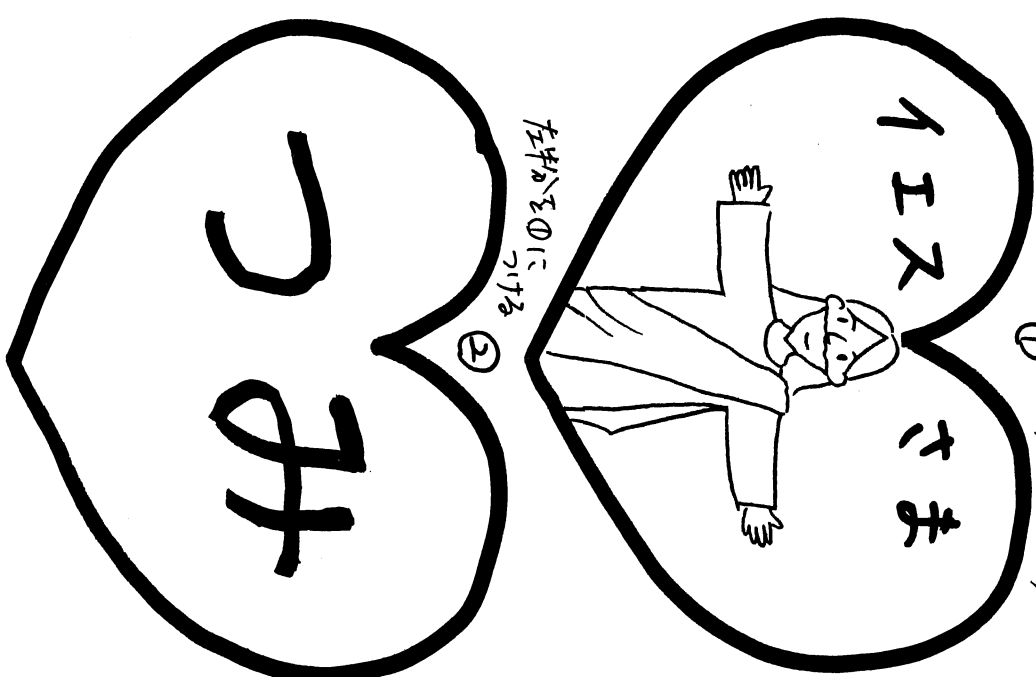
- (1) ○に自分の顔を描く。
- (2) ①、②を太線で切り取り、折り目を付ける。
- (3) 図のように①、②を折り合わせる。
- (4) 本体に(3)をのりではりつける。



① 左半分にのり

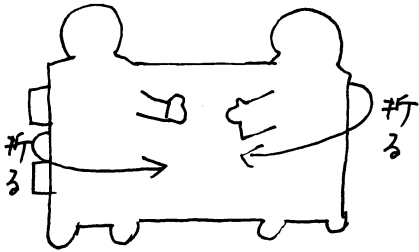
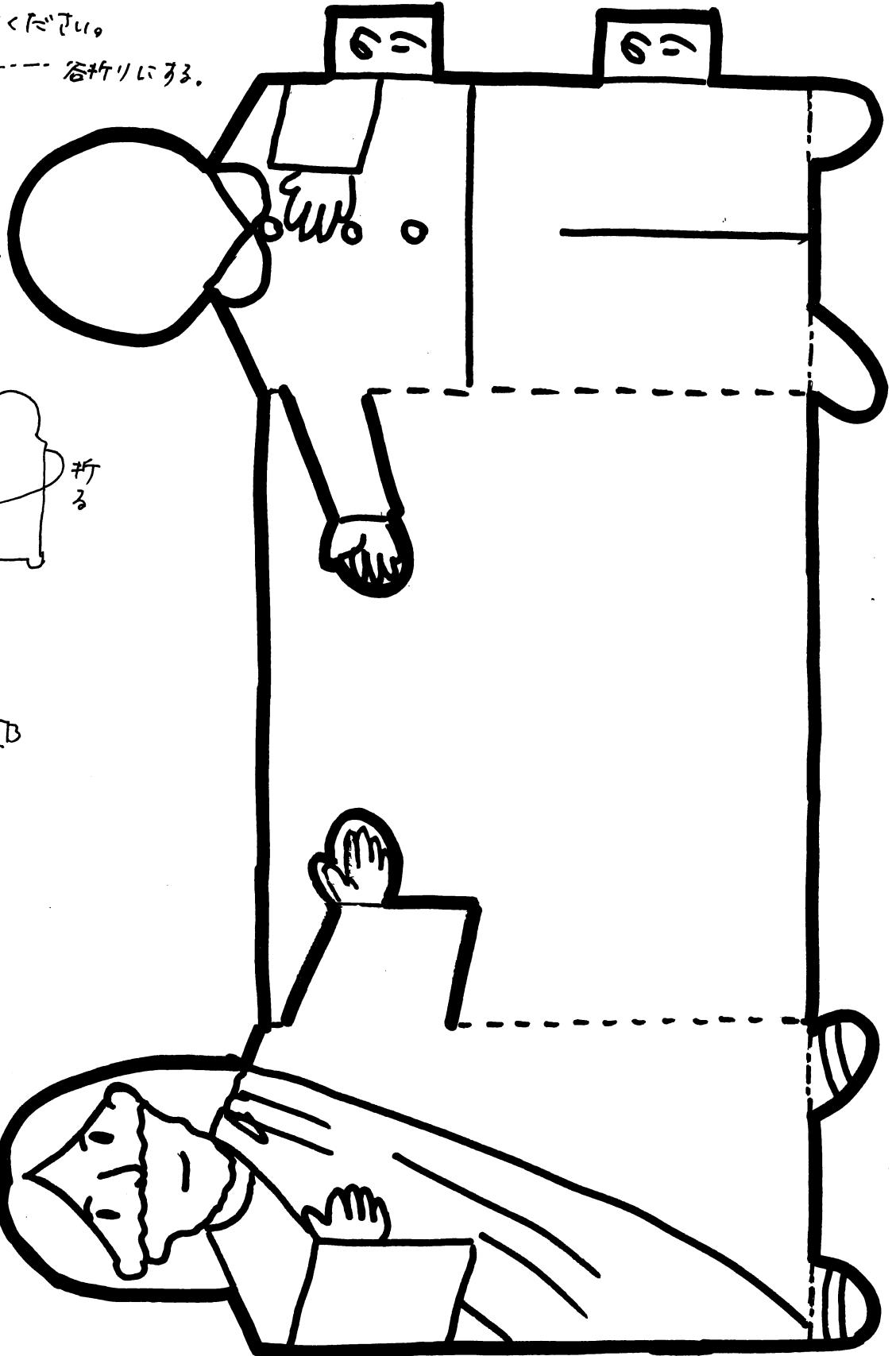
左半分にのり

②



もとめよ、そうすればあたえられる
であろう。 マタイ 7・7

- ① 右側の○に自分の顔を描く、
- ② 色をぬる。
- ③ 太線で切り取る。手の部分はカッターナイフで
切り込みを入れてください。
- ④ --- 山折り、---- 谷折りにする。
- ⑤ のりの部分を
イエスの像に
はりつける。
机の上に立て置く。



A

2010 6 月 13 日

(加11)

し・ん・ぱ・い、バイバイ！

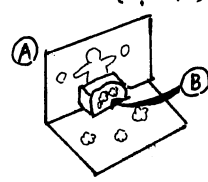
もとめよ、そうすればあたえられる
であるう。
マタイ 7・7

① Aに花や鳥の絵を描く。

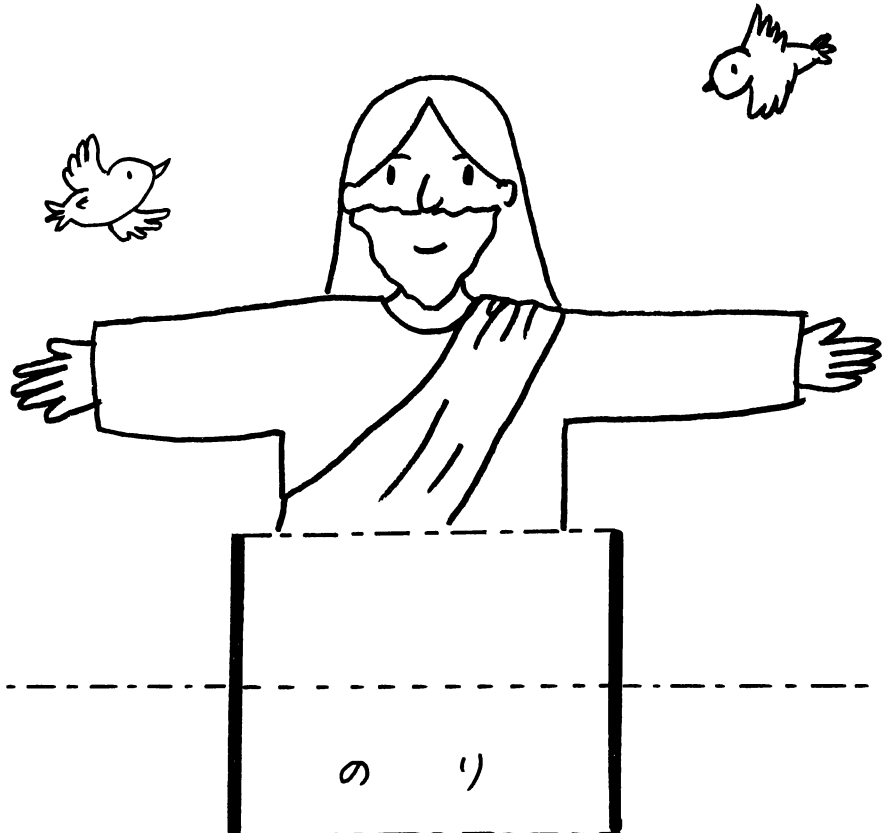
② AとBに色をぬる。

③ 太線で切り取る。Aには切り込みを入れる。

④ ---谷折り、---山折りにして、のりの部分にBをはりつける。



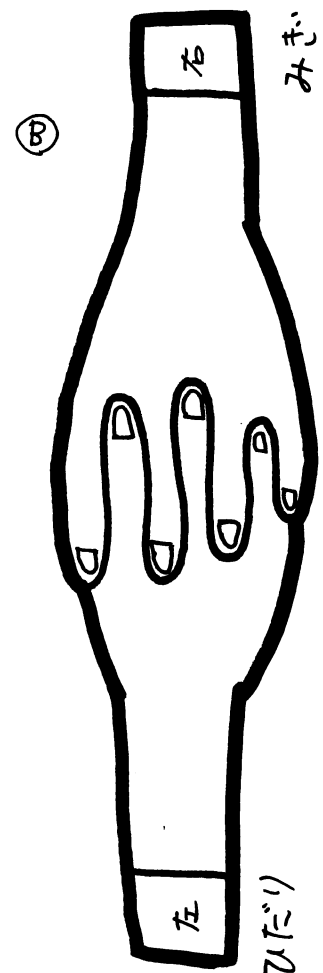
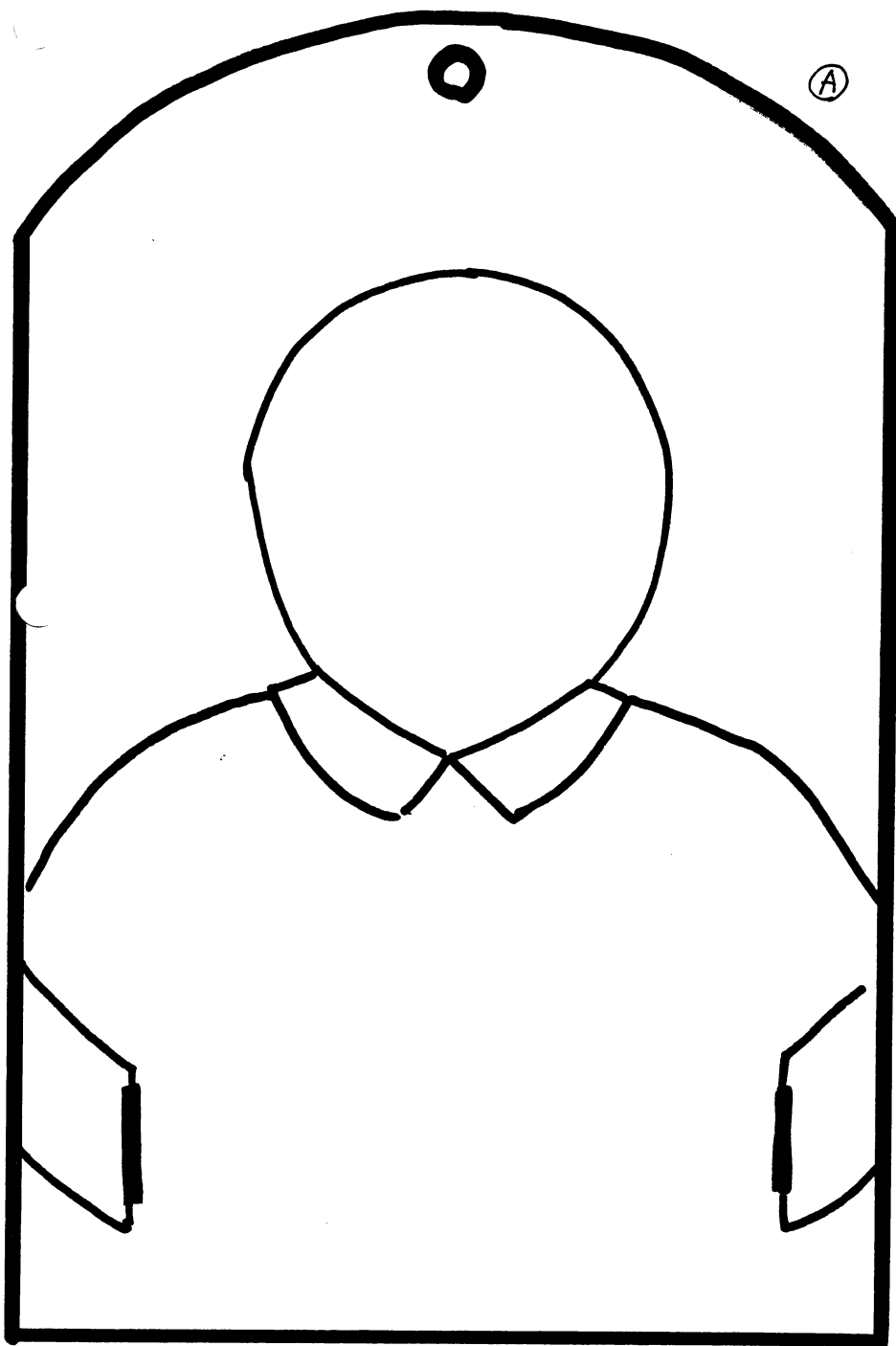
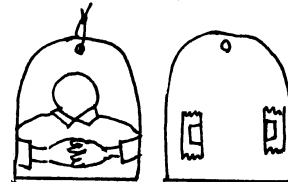
A



A 2010 6 月 20 日 (加12) しんじていのりもとめよう！

もとめよ、そうすればあたえられる
であらう。 マタイ7・7

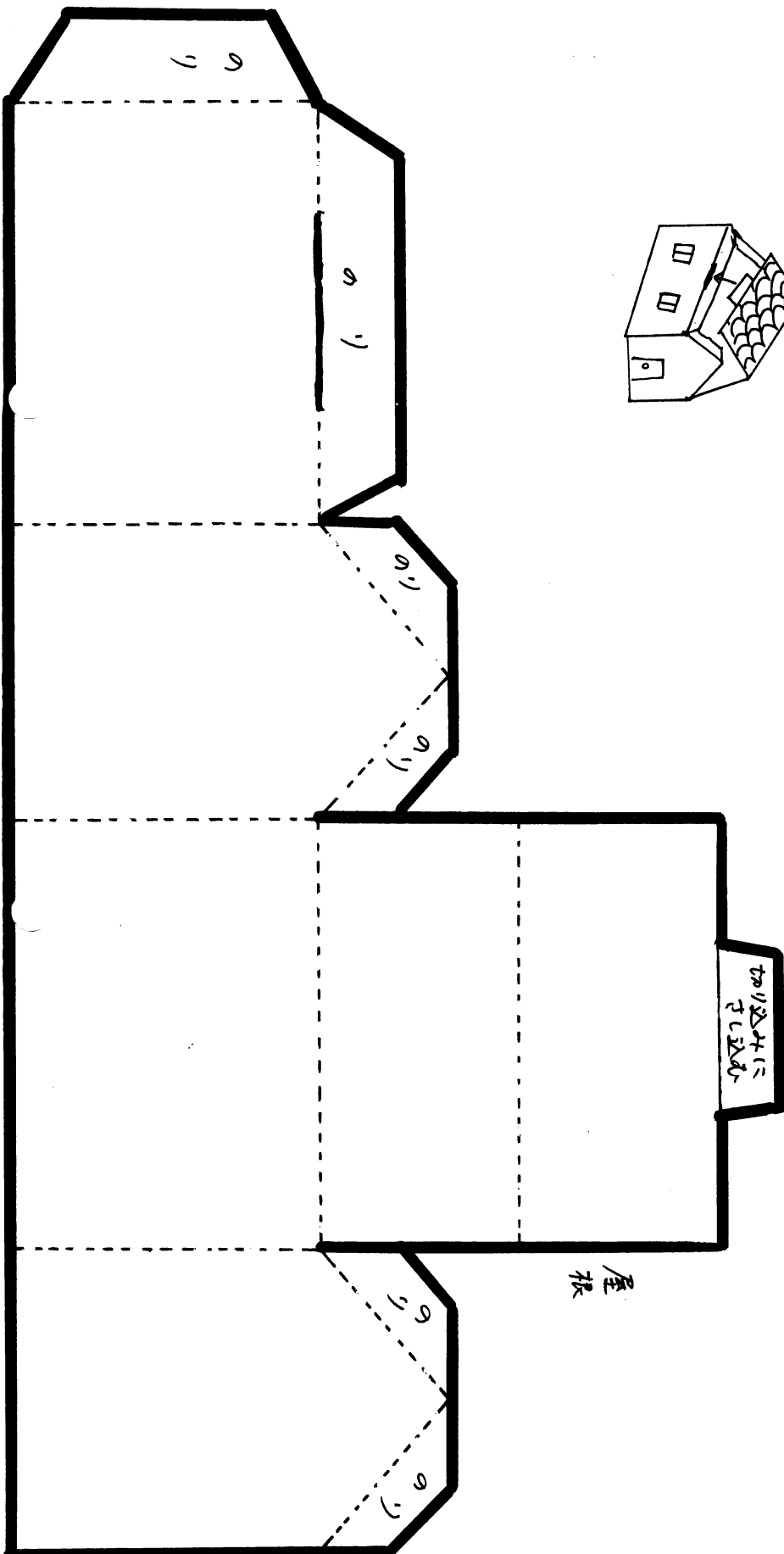
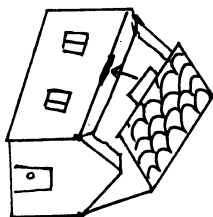
- ① ① ④に自分の顔を描き、④、⑤ともに色をぬる。
- ② 太線で切り取る。④には切り込みを入れる。
- ③ ⑤の右、左を間違えないように切り込みに差し込み、裏からテープで貼る。
- ④ 壁にかけられるように、穴にひもを通す、
(あいている部分にみことぶを書いてもいいです)



A 2010 6 月 27 日 (加13) みことばをきおこなうひと

もとめよ、そうすればあたえられる
であろう。 マタイ 7・7

- ① 家をつくりまわし、戸や窓を書き入れ、色をぬる。
- ② 太線で切り取り、切り込みを入れる。
- ③ ----- 山折りにして、家を組み立てる。
- ④ いろんな場所においてみて、くたてよう。



2010年度 牧羊者 第 I 巻

ワーク A 解説 4~6月

(鎌野 4/4 ~ 5/16、吉田 5/23 ~ 6/27)

4/4

●話し方のヒント

カリキュラム番号 1

イエス様が十字架の上で死なれてから 3 日目の朝早く、マグダラのマリヤと他の女の人たちがイエス様の墓に行くと、入口の大きな石が転がしてありました。石の上には光り輝く天の使いが座っていて、「イエス様はここにはおられない、よみがえられたのだ」と言いました。イエス様がよみがえられ、生きておられることがわかり、女の人たちの悲しみは大きな喜びに変わりました。墓の中にはおられない、死からよみがえり、今も生きておられるイエス様を信じて、私たちも喜びいっぱい歩みましょう。

●ワークについて

死からよみがえられたイエス様を覚えましょう。

4/11

●話し方のヒント

カリキュラム番号 2

悲しみと不安でいっぱいの二人の弟子は、自分たちに近づき、一緒に歩いている方がイエス様だとは気付きませんでした。けれども、イエス様が聖書のお話をしてくださるのを聞き、一緒に食事をしている間に不思議に心が温かくなり、心の目が開かれて、一緒にいるのがよみがえられたイエス様であることがわかり、信じました。イエス様は私たちの所にも来て一緒に歩んでくださり、私たちの心を温かくし、心の目を開いて、よみがえられたイエス様を信じる心と喜びの心を与えてくださいます。

●ワークについて

心の目が開かれると、イエス様の姿がはっきりと見えることを覚えましょう。

4/18

●話し方のヒント

カリキュラム番号 3

他の弟子たちはよみがえられたイエス様の姿を見たのに、トマスはまだ見ていなかったの、トマスは「死んだ人がよみがえるはずがない、手に釘の穴を見てさし入れてみなければ信じない」と言い張っていました。そのトマスが信じるようにと、イエス様はトマスにも姿を現されて、手の傷跡を見せてくださり、「見ないで信ずる者は、さいわいである」とおっしゃいました。私たちは今、天におられるイエス様の姿を見ることができませんが、聖書の中に記されている、よみがえられ、今も生きておられるイエス様を「見ないで信じ」ましょう。

●ワークについて

イエス様がお語りになった言葉を心に刻みましょう。

4/25

●話し方のヒント

カリキュラム番号 4

よみがえられたイエス様は、ガリラヤ湖の岸で弟子たちに会い、ペテロを呼ばれました。そしてペテロに、「わたしを愛しますか」と三度も優しく尋ねられました。それは「イエス様のためなら命も捨てます」と言いながら、イエス様が捕らえられるとイエス様を裏切ったペテロに、赦していることを伝えるためでした。イエス様はペテロを赦して、ペテロに大切な仕事までお任せになりました。イエス様は私たちがどんな失敗をしても、愛し、赦し、期待して大切な仕事を任せてくださいます。

●ワークについて

赦して期待してくださるイエス様の愛を覚えましょう。

5/2

●話し方のヒント

カリキュラム番号5

よみがえられたイエス様は、天にお帰りになる前、弟子たちに「すべての人にわたしのことを伝え、バプテスマを受け、わたしの弟子になるように訓練しなさい」と、お命じになりました。そして弟子たちが恐れず力強く伝える者となるために、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」と約束してくださいました。イエス様が共にいてくださるなら、私たちにもできないことはありません。私たちは、世の終わりまで共にいてくださるイエス様と一緒に、力強く、家族やお友だちにイエス様のことを伝えていきましょう。

●ワークについて

イエス様が共にいてくださって、私たちを守り、力を与えてくださることを覚えましょう。

5/9

●話し方のヒント

カリキュラム番号6

神様は、私たちが幸せに生きていくために大切なことをたくさん教えてくださいますが、その中の一つが「父と母を敬う」ということです。神様はご自身に代わって、私たちを正しく育てるために、両親を私たちに与えてくださいました。その両親を大切に思い、両親がしてくれること、教えてくれることを、「ありがとう」と感謝の気持ちで受け取って従うなら、私たちは神様の子どもとして、正しく成長していくことができます。

●ワークについて

作った人形を動かしながら、両親に感謝の気持ちを表しましょう。

5/16

●話し方のヒント

カリキュラム番号7

皆さんは「聖霊」を知っていますか？イエス様はたびたび「聖霊」について弟子たちにお話しになり、「聖霊を与える」と約束されました。この「聖霊」は、神様が与えてくださる「助け主」であり、聖霊によってこそ力強くイエス様のことを伝えることができます。弟子たちはこの聖霊を与えていただきたいと願って、エルサレムの町で、みんなで集まって、心を合わせて、聖霊が与えられるまで祈り続けました。私たちもイエス様の約束を信じて心を合わせて祈り続け、聖霊をいただいて、イエス様のことを力強く伝えていきましょう。

●ワークについて

約束を信じて、みんなで心を合わせて祈ることを覚えましょう。

5/23

●話し方のヒント

カリキュラム番号8

五旬節というお祭りの日のことです。エルサレムには大勢の人が集まっていた。このような中で、イエス様の弟子たちは同じ家に集まって、心を合わせて祈り、イエス様が約束してくださった聖霊を待っていたのです。突然ゴォーと激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、舌のようなものが炎のように分かれて、一人ひとりの上にとどまりました。約束どおり、イエス様が聖霊を送ってくださったのです。この出来事に驚いた多くの人が集まってくると、弟子たちは、今まで知らなかった外国の言葉でイエス様のことを話していました。この日から、弟子たちは、イエス様のことを世界中に知らせるお仕事を始めました。聖霊の神様が助けてくれたので、弟子たちはすばらしい働きができたのです。私たちも弟子たちのように、イエス様を伝える人にしていただきましょう。

●ワークについて

弟子たちが聖霊に満たされてイエス様のことを伝えたことを、人形を使って確認しましょう。

5/30

●話し方のヒント

カリキュラム番号9

イエス様はバプテスマのヨハネからバプテスマを受けました。それから、イエス様の大切な働きが始まりました。イエス様の働きは、神様の救いの時が来たことを伝えることと、今までしてきた悪いことを神様に「ごめんなさい」と言って赦^{ゆる}していただき、「イエス様のことを信じましょう」と多くの人たちに伝えることでした。イエス様は私たちにも同じように語っておられます。あなたはイエス様を救い主と信じますか。私たちの心の中にイエス様が住んでくださるなら、神様の恵みがたくさん与えられるようになります。罪を悔い改めてイエス様を信じましょう。

●ワークについて

イエス様を信じることは、どのようなことか知りましょう。

6/6

●話し方のヒント

カリキュラム番号10

イエス様は町を巡り歩いて、みんなが神様を信じるようにと、神様のお話をしていました。また、それだけでなく、病気を治す働きもしていました。イエス様の力を知った人々は、イエス様の所へたくさん集まってきました。イエス様は山に登って座り、話し始めました。「心の貧しい人たちはさいわいである」と。イエス様が言う本当の幸せとは、自分がしたいようにすることではなく、神様のみこころのとおりにしていただくことです。神様を信じて、神様に従って、本当の幸せをいただきましょう。

●ワークについて

本当の幸せは、イエス様から離れていることではなく、イエス様の側にいることであることを覚えましょう。

6/13

●話し方のヒント

カリキュラム番号11

今日は花の日です。イエス様は空の鳥やきれいなお花を見ながら、人々にお話されました。「空の鳥を見るがよい」と。空の鳥は食べ物の心配をしなくても、神様が与えてくれます。神様は私たちを、鳥よりもずっと大切に思ってくださいるので、何を食べようかと心配しなくてもよいのです。また、イエス様は言われました。「野の花がどうして育っているか考えて見るが良い」と。花は何もしないけれど、神様がきれいな花を咲かせてくださったのです。神様は鳥や花以上に私たちを愛してくださっています。だから、心配したり悩んだりする時は、何でも神様にお任せしましょう。神様は私たちを愛してくださっているのですから。

●ワークについて

花カードを作って、神様は私を愛してくださっていることを覚えましょう。

6/20

●話し方のヒント

カリキュラム番号12

イエス様は山の上で、人々に祈ることの大切さを教えられました。みんなはどんな時に神様にお祈りしますか。祈ってもしかたがないなんて、思っていないですか。それは間違いです。イエス様は、神様に祈り続けなさいと言われます。そうすれば、神様は私たちを愛してくださっているので、一番よい時に、一番良い答えをしてくれるのです。今日からどんな事でも神様にお祈りしましょう。神様は、みんなにとって一番良いことをしてくださいます。

●ワークについて

祈ることの大切さをいつも覚えることができるように、壁掛けを作ります。

6/27

●話し方のヒント

カリキュラム番号13

二人の大工さんが家を建てました。一人は、しっかりした岩の土台の上に、もう一人は砂の上に建てました。建てた家はどちらも立派な家ですが、風が吹いて、雨が降ると結果は明らかです。イエス様は、このお話しから私たちに何を教えようとされているのでしょうか。それは、神様のお言葉を聞いて、覚えて、守ることの大切さです。いつも心に、神様のみ言葉をしっかり覚えているならば、困ったことがあっても、けっして負けることはありません。イエス様が教えてくださったことを行うことのできる子どもになりましょう。

●ワークについて

作った家を置いてみることで、土台がしっかりしていることの大切さを覚えましょう。